

長野市版ブックスタート「おひざで絵本」事業 概要

長野市教育委員会 家庭・地域学びの課

赤ちゃんの体の成長にミルクが必要のように、赤ちゃんのこころと心を育むには、温かなぬくもりの中で、やさしく語りかける時間が必要です。

市では、絵本を通して赤ちゃんが大人が寄り添うひとときを持つことで、赤ちゃんの豊かな心の成長を促し、また、大人とのきずなを深めるひとつのきっかけとなることを願って、平成21年12月から、赤ちゃんに絵本を贈る長野市版ブックスタート「おひざで絵本」事業を実施しています。

1 ブックスタートとは

すべての乳児及びその保護者に対して、乳児期から絵本と触れ合うことの大切さや楽しさを伝えながら、絵本を手渡す運動。

2 対象者

市内在住の1歳未満の乳児とその保護者 対象児は、年間約2,400人

3 実施場所

7～8か月児健康教室(長野市保健所主催、市内8保健センターで実施)

4 実施方法

R6.4～当日のボランティアによる読み聞かせから
図書館の読み聞かせ会へのご案内へ変更

教室全プログラム終了後

ボランティア団体の皆様による読み聞かせ

絵本の読み聞かせの大切さや方法などを伝えます。
また、実際にお渡しする絵本の実物をご覧いただけます。

ボランティアによる
読み聞かせの様子



希望する絵本を渡す

以下の5冊の中から、健康教室当日にお好きな絵本を一人の子につき1冊選んでいただき、その場でお渡しします。

※該当する健康教室に参加できない場合は、都合のつく日程の教室に参加していただきます。
※やむを得ず健康教室に参加できなかった場合は、家庭・地域学びの課へ連絡の上、市役所や市立公民館・市交流センター、市立図書館で受け取ることができます(受取期限は当該乳児の1歳の誕生日まで)。

5 現在配付している絵本(長野市おひざで絵本事業絵本選定委員会にて選定)

- 「いないいないばあ」文:松谷みよ子 画:瀬川康男(童心社)
- 「おせんべやけたかな」構成・文:こがようこ 絵:降矢なな(童心社)
- 「くだもの」作:平山和子(福音館書店)
- 「でんしゃ くるかな?」作:きくちちき(福音館書店)
- 「もう おきるかな?」文:松野正子、絵:藪内正幸(福音館書店)



※これらの絵本は、学識経験者や読み聞かせ団体の代表者などから構成される「長野市おひざで絵本事業絵本選定委員会」で決定されたものです。

6 配付絵本に同封されるもの



- 絵本を受けとられた保護者に向けたパンフレット
事業目的や赤ちゃんとの絵本の楽しみ方、市立図書館おはなし会案内を掲載。
- お薦め絵本リスト
配付絵本5冊のほか、「0・1歳向け」「2歳以上向け」としてお薦めの絵本を掲載。